

令和2年度 第4回子どもサポート本部会議

協議事項結果

1 現時点で活動について、各地区で決定していること

ある	ない
0	6

あると答えた地区の決定している事項
・地域の特色を生かした事業「農業体験」、「子どもサミット」はコロナ対策を考慮しながら実施できるようにしたい。 ・従来以上に地区内の小中学校の校長、及び教員の方々との意見交換をこれまで以上に行いたいと考えている。

2 来年度の総会時期の予定

例年通り	令和3年度は変更予定
4	1
未決定	
1	

月別内訳

月	4月	5月	6月	7月	8月
地区数		3	2		

3 来年度の自治区の活動について展望や取り組みもうとしていること等について

・地域の登山経験者指導によるキッズハイキング【名細地区】 ・地域の高齢者の指導による梅干しづくり、干し柿づくり【名細地区】 ・地域の案内人による寺社等の名所めぐり、史跡（川越館跡）めぐり【名細地区】 ・2005年より続いている「南古谷地区子ども文化祭」について、会場の選定等の課題はあるものの、地域の方からは、保護者、学校、地域が一つになれる行事なので継続してほしいという声があります。コロナ禍でも継続できるようにしていきたいと考えています【南古谷地区】 ・コロナ対策を最優先に、できることに挑戦したい【大東地区】 ・新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、できる限り例年通りの事業を進めていきたい【福原地区】 ・例年であれば子どもたちとのふれあい・見る目を増やし、子どもたちの安全を創出することを活動方針として事業を遂行してまいりましたが、コロナ禍の状況においてはボランティアの安全を第一に考え、活動が困難であると思います。ただ、何か委員会として安全を確保して、子どもたちのために出来る支援がないか、委員、ボランティア、学校の話し合いにより創出していきたいと思います。併せて、今後のために、こういう状況下での危機管理・活動マニュアルの作成をしようと思っています。 ・例年実施の活動【各地区共通】

4 その他

活動実施に際しては、以下を重視する ・地域内小中学校の校長、教員との頻繁なコンタクト、ヒアリング ・学校間をまたぐ生徒同士の交流、保護者同士の交流を深める ・地域の各種団体、自治会との連携
